

### 専門の医療機関での診断が大切です

認知症の原因となっている病気の種類により治療方法が異なります。適切な治療とケアによって進行を遅らせたり、症状をやわらげることができる可能性があります。

専門の医療機関では、適切な対応の方法やかかわり方についてのアドバイスがもらえます。

### 「認知症」と「もの忘れ」の違いは？

#### もの忘れの場合…

- ①もの忘れを自覚している。
- ②体験の一部を忘れる。  
(例：食事のメニューや約束の日時を思い出せない。しかし、ヒントがあると思い出すことができる。)
- ③人格の変化は、少ない。
- ④日常生活には、支障がない。

#### 認知症の場合…

- ①もの忘れを自覚出来ない。
- ②体験のすべてを忘れる。  
(例：食事をしたことや約束したこと自体を忘れてしまう。)
- ③人格が変化する。
- ④日常生活に支障が生じ、介護が必要になる。

### 認知症の方は、病気の意識はないのでしょうか？

認知症を発症し、忘れることで失敗したり、今までできていた仕事が出来ないなどの出来事が多くなり、本人が「おかしい」と感じはじめます。心配で不安になり、苦しんでいるのは本人なのです。

#### 「私は、忘れていない」に隠された悲しみ…

認知症の方は「私が認知症であるわけがない。」とやり場のない怒りや不安を家族にぶついたりされます。しかし、それは本人の隠された悲しみの表現でもあります。

### Q 認知症の症状とは？

認知症の代表的な症状は「もの忘れ」と言われる記憶の障がいです。新しいことを覚えたり、思い出すことが難しくなります。繰り返し同じことを聞いたり、物のしまい忘れや置き忘れが増えます。伝えたい言葉が出てこなかったり、言葉で表現することが難しくなるため、会話のつじつまが合わなくなります。本人は、なんとか作り話で取り繕うこともあります。



### Q 物盗られ妄想とは？

自分が大事にしているものをいつもと違う場所にしまいこんで、「財布がなくなった」「通帳や印かんが盗られた」と訴えることがあります。本人は、自分は置いた場所を忘れる訳がないと思うあまり、そばで世話をしてくれる人が「もしかして盗ったのでは？」と妄想が起こることがあります。



### Q こんなとき、どのように対応すればよいのでしょうか？

「あなたが盗ったのでは？」と本人から言われると、家族は「私が盗るはずがない、しっかりしてよ。」と本人を非難し、受けるショックも大きいと思います。しかし、本人にとっては大事な物がなくなり、どうしてよいかわからないという強い不安を抱えています。周囲の人は、本人の不安を理解して、「それは心配だったでしょう。一緒に探してみよう。」と温かく声をかけ、本人の気持ちに寄り添うことが重要です。また、日ごろから本人の財布や保険証などは決まった鞆に入れておいたり、通帳や印かんを家族が管理するなどの工夫をするとよいでしょう。

